

平成 24 年 11 月 20 日
電子国土基本図のあり方検討会

2 万 5 千分 1 地形図の表現について（案）

1. 今後の方針

- ◎ 2 万 5 千分 1 地形図は電子国土基本図のデータから作成する（平成 25 年度秋から順次移行）
- ◎ 上記により作成効率を向上させ、地形図の年間更新面数を増やし更新周期を短縮する。
- ◎ 印刷方法を現在の特色印刷（3 色）から CMYK プロセス印刷（4 色：FM スクリーン）に変更し、濃淡や中間色による表現を可能とする（価格は変更となる見込み）。

2. 表現方法

- ◎ 山間部における 4 色表現について検討する。
- ◎ 転位及び取捨選択すべき項目と内容を検討する。なお、転位・取捨選択は電子地形図 25000 と 2 万 5 千分 1 地形図どちらにも実施する。
- ◎ 総描は行わず、色や濃淡等の調整で視認性を確保することを原則として、最適な表現手法を検討する
- ◎ 電子地形図で選択可能な項目や付属資料項目は、印刷図としてふさわしい表現を検討し、新しい地形図の仕様を決定する（送電線、等高線、駅名表示、国道番号などの表示の有無と色）。

今後の予定

- ・ あり方検討会委員からの意見集約（12 月）
- ・ 試作図作成、ユーザーアンケート実施（25 年 1～2 月）
- ・ 第 5 回あり方検討会、新仕様の決定（25 年 3 月）
- ・ 新方式による地形図の刊行（25 年秋～）

資料 4-2-3～5 の説明

資料 4-2-3

○特色 4 色印刷

- ・ 特色印刷を行い、従来地形図表現を確認した。
- ・ AM スクリーンの線数を従来の 120 線から 150 線に細かくした。
- ・ 高速道路と公園及び植生記号については緑色表現として 4 色表現とした。
- ・ 建物については網 70 パーセントで表現した。
- ・ 一部を四角で囲み、植生記号の従来表現と建物を黒色表現した。
- ・ 建物の網点についても 60、70（本図）、80 パーセントの確認をした。
- ・ 高速道路の緑網についても 50、60 パーセントを確認した。

資料 4-2-4

○CMYK プロセス印刷（FM スクリーン）

- 上側 「札幌」電子地形図標準（道路・建物灰、国道記号三角、土崖の中に等高線表示）
- ・ 電子地形図 25000 標準仕様をそのまま印刷した。
- 下側 「札幌」交通施設（道路・鉄道等）黒色、計曲線濃
- ・ 国道番号を現在の地形図と同じ表現とした。
 - ・ 交通施設（道路・鉄道等）を黒色とし、建物（灰）と区別した。
 - ・ 計曲線の色を主曲線より濃くした。

資料 4-2-5

○CMYK プロセス印刷（FM スクリーン）

- 上側 「札幌」現在の地形図表現、植生記号緑（5 万分 1 仕様）
- ・ 現在の地形図と同じ表現とした。
 - ・ ただし植生記号は緑色で表現した。
- 下側 「定山溪」電子地形図標準
- ・ 電子地形図 25000 標準仕様で山地等の地形について確認した。